

【第2回】 習志野市制施行70周年記念事業実行委員会 議事要旨

1 開催日時 令和5年8月21日(月)午後1時30分～午後3時00分

2 開催場所 習志野市庁舎3階 特別会議室

3 出席者

【構成員】	市長【会長】	宮本 泰介	習志野市議会議長【副会長】	佐々木 秀一
	副市長	諏訪 晴信	教育長	小熊 隆
	企業管理者	市川 隆幸	習志野市社会福祉協議会会長	高橋 勝
	習志野商工会議所会頭	芦澤 直太郎	習志野市農業委員会会長	三代川 彦博
	(代理)	齊藤 勝雄		
	習志野市芸術文化協会会長	欠席	習志野市スポーツ協会会長	伊藤 寛
	習志野市連合町会	鈴木 とし江	習志野市小・中学校長会会長	蓮 一臣
	連絡協議会会長			
【事務局】	総務部長	遠藤 良宣	総務部次長	佐々木 博文
	総務課長	中野 幸子	総務課主任主事	林 優樹
	総務課主任主事	齋木 若菜		

4 議題

第1 会議の公開(非公開)

第2 会議録の作成等

第3 報告

(1) 企画準備委員会の委員構成について

第4 審議

(1) キャッチフレーズ・ロゴマークについて

(2) 記念事業(案)について

第5 その他(事務連絡等)

5 会議資料 別添のとおり

6 議事内容

日程第1 会議の公開(非公開)

会議は要綱の規定により、原則公開となっているため公開すること、ただし、内容により公開・非公開の判断が必要となった際は、その都度諮ることで承認された。

日程第2 会議録の作成等

会議録については要点筆記とし、会議名、開催日時、開催場所、出席者氏名、審議事項、会議内容及び発言委員名を記載した上で、市ホームページ及び市役所グランドフロアの情報公開コーナーにおいて、公開することで承認された。

日程第3 報告

(1) 企画準備委員会の委員構成について

事務局より、企画準備委員会の委員構成は、第1回実行委員会での意見をもとに18名に委嘱しており、会長は習志野市連合町会連絡協議会所属の長谷川清次様となったことが報告された。

日程第4 審議

(1) キャッチフレーズ・ロゴマークについて

事務局より説明後、以下のとおり質疑応答があり、決定は会長及び副会長へ一任された。

【事務局】 資料2「キャッチフレーズ・ロゴマークについて」に沿って説明する。
はじめに、キャッチフレーズについては、企画準備委員会の委員から全部で27点の案が提出され、委員間で投票を行ったのち、次の3つを選考した。

1番 つなごう、70年のハーモニー

2番 かなでよう未来へ 習志野70周年

3番 エンジョイ習志野 70th である。

それぞれのキャッチフレーズの説明は、資料に記載しているとおりである。

本日はこのキャッチフレーズについて、ご意見を伺いたい。

原案そのままでも、もちろん結構であるが、この各案をベースとして、「この文言を追加したほうがよい」、「この文言を違う文言に変更したほうが良い」など、様々な意見をお聞かせいただきたい。

【伊藤委員】 企画準備委員会で選考されたとのことで、順位1位の「つなごう、70年のハーモニー」がすっきりしていると思うが、得票数は差があったのか。

【事務局】 差はほとんどなかった。

【佐々木副会長】 60周年の時のキャッチフレーズは何か。

【事務局】 「JUMP 習志野 60」である。

【佐々木副会長】 前回とのつながりも考えると良いとも思った。

【鈴木委員】 他にはどのような案があったのか。

【事務局】 3案の他の案は、「みんなで あたらしい つぎのみらいへ」、「みんなで進もう、行き先は新しい未来!」、「おかげさまで70周年 夢と希望を紡ぐまち習志野」、「なんと! なつとくの! ならしの! ななじゅっしゅうねん!」、「Hope 習志野」、「Trinity習志野 (注:まち・ひと・仕事 三位一体)」、「My Hometown Narashino 70th Anniversary」、「習志野を、鳴ら

しいーの♪」、「思いやり 未来へ紡ぐハーモニー」、「鳴らし、響きつづける。」、「Action! 創ろう習志野 70周年」、「未来・夢 習志野」、「夢つむぐ 習志野」、「習志野なら、幸せ」、「愛しのならしの」、「LOVABLE習志野」、「ひびかせ習志野」、「〇〇なら習志野」、「もっと習志野70th」、「Next Step ならしの 70th」、「WA!ならしの70ーこれまでも、これから もともにー」、「まだまだ習志野」、「今、超える。」、「時をかける習志野 70」であった。

【宮本会長】 各委員の意見を基に、会長及び副会長に決定を一任いただき、後日報告をさせていただく形でよろしいか。

～一同承認～

それでは、そのようにさせていただきます。

次の審議に移る前に今後のロゴマークの作成方法について、事務局より報告する。

【事務局】 ロゴマークの作成方法について、報告する。

この後、決定したキャッチフレーズにて、ロゴマークの原案の公募を行う。公募先については、大久保にあるプラッツ習志野で活躍されているクリエイターズクラブのイラストレーターの方たちを想定している。

クリエイターズクラブとは、イベントの開催やサークル、プロジェクトの立ち上げなど、地域を盛り上げるために活躍されている市民で、令和4年度末現在で210名の方が登録している。このうち、イラストレーターは11名ほど在籍しているとのことである。

応募のあったロゴマークから、原案となるものを10月の実行委員会にて決定し、その採用されたロゴマークを作成したイラストレーターと調整しながら、最終的なロゴマークを決定する予定である。

ロゴマークが決定したら、キャッチフレーズとあわせて各方面へ広報を開始する。

なお、採用されたイラストレーターの方には、謝礼をお渡しする予定である。

(2) 記念事業(案)について

事務局より一括して説明した後、以下のとおり質疑応答があり、提案のとおり承認された。

なお、花火大会については、本実行委員会の直轄事業として扱わないことに決定した。

【事務局】 それでは、資料3-1「企画準備委員会 提案事業一覧」に沿って説明する。

まず、記念事業の候補については、事務局が市の各部局に対し、記念事業の募集を行った。提案があった記念事業から、企画準備委員会

が70周年にふさわしいものを選定し、実行委員会へ提案がなされている。

企画準備委員会では、検討段階でキャッチフレーズとの繋がりを含めて検討がされた。キャッチフレーズ案は、「音楽のまち習志野」に関連するものが多くあったことから、記念事業についても音楽に関連するものを多く取り上げている。その他の傾向としては、より多くの方が参加できるものが優先的に選考されている。順番に概要を説明する。

1番目は、「タイムカプセル開封イベント」である。

50周年の時に旧庁舎側に埋めたものだが、現在は市庁舎駐車場の脇に移設している。当時、20年後の8月に開封する旨を周知しているため、令和6年8月頃の開封を予定している。なお、開封の方法などは、現在検討中である。

2番目が、「ブルーインパルス展示飛行」である。

航空自衛隊が、その存在を多くの人々に知ってもらうために、行事などで華麗なアクロバット飛行を披露する専門のチームが、ブルーインパルスで、このアクロバット飛行が展示飛行と呼ばれている。令和5年4月には新潟県上越市で展示飛行を行うなど、他市でも実績もある。今回の周年事業に合わせ、ブルーインパルス部隊を誘致し、習志野市内の上空を飛行していただく。展示飛行そのものには費用は不要だが、当日の気象状況などをブルーインパルス部隊に報告する隊員の宿泊費や飲食代が必要であることから、予算を8万円と見込んでいる。

ブルーインパルス展示飛行の提案に伴い、前回の実行委員会にて提案のあった「花火大会」について説明する。企画準備委員会では、予算面や人員の動員などを踏まえ、メインイベントを各部局から提案のあった、「花火大会」、「大相撲大会」、「ブルーインパルス」の3案から1つに選考することとした。検討の中で、まず、より多くの方を対象にできるものとして、「花火大会」と「ブルーインパルス」の2つに絞り込んだ。

次に、「花火大会」と「ブルーインパルス」を比較するにあたり、近隣市での実施状況や費用面で検討を行った。その結果、これまで、本市はもとより近隣市でも実施したことがなく、フライト費用が不要であることから、ブルーインパルスが採用された。

3番目が「音のなる階段」である。

「音楽のまち習志野」を具現化・可視化する「巨大階段ピアノ」をJR津田沼駅南口や市役所、プラッツ習志野などに設置するものである。音の鳴る階段とは、階段を上り下りする際に階段に設置されたセンサーが反応し、ピアノの音を発する仕掛けとなっている。

1か月程度の設置費用として、300万円の予算を見込んでいる。

このピアノは屋外にも設置可能であるため、場所については、より効果的な場所を検討していく。

4番目が「習志野市公式 LINE を活用した大スタンプラリー大会」である。

習志野市公式 LINE を活用してデジタルスタンプラリーを実施するもので、令和4年度に行っているスタンプラリーを周年に合わせて大々的に実施するものである。

5番目が「誰でもピアノ演奏」である。

市役所のグラウンドフロア階段周辺や、プラッツ習志野にピアノを設置し、市民が自由に演奏する機会や場所をつくるものである。

6番目が「誰でもコンサート」である。

市役所の外にあるハミング広場の階段下で、市民が路上ライブやコンサートを行う機会を提供するものである。

7番目の「デザインマンホール・マンホールカード事業」である。

70周年記念デザインを施したマンホールを作成し、市役所敷地内等への設置及びデザインマンホールカードの配布を行うものである。

デザインマンホールカードは、「下水道広報プラットホーム」という団体にデザインマンホールを登録することで、発行することができる。全国の自治体がこのカードを発行しているが、登録には実用性のあるマンホールでなければならないため、予算は設置費用やカードの発行費用を併せた143万円となっている。

8番目から10番目は、包括連携協定締結先である郵便局と調整して実施するものである。

8番目が「ラッピングポスト作成」である。

ラッピングポストとは、郵便ポストにフィルムを貼り付け、デザイン化したポストで、こちらを2基作成するものである。1基あたりの作成費は22万円を見込んでいます。

9番目が「風景印の作成」である。

消印といえば、切手の隅に押される、郵便局名と年月日が記された判子だが、風景印には、さらにその地域の名所やゆかりのあるもの、特産物などが描かれている。この風景印を、市内の郵便局で作成するものである。

10番目が「オリジナルフレーム切手の作成と郵便局による販売」である。

60周年でも作成したオリジナルフレーム切手を70周年用に作成し、郵便局にて販売するものである。

9番目の風景印と10番目のオリジナル切手については、作成費用は

不要の事業となる。

11番目が「記念動画の作成」である。

市制施行から現在までの写真、映像等のデータを基に、市の軌跡を振り返るショートムービーを作成し、様々な場所で映像を流すことで70周年を周知するものである。

12番目が「ナラシド♪の友達 飛来事業」である。

ナラシド♪の色違いを作成し、ナラシド♪の友達を作成するもので、着ぐるみを作成する場合は経費が必要となる。

13番目が「ナラシド♪ぬいぐるみ制作・販売事業」である。

平成29年度に販売したナラシド♪のぬいぐるみを70周年を記念して再販するものである。

14番目が「バスへのバスマスク設置」である。

ハッピーバスやナラシドバスといったコミュニティバスのフロント部分に、70周年記念のロゴマークなどを掲げ、市民に周知するものである。

以上が企画準備委員会より提案している事業である。

この他に、「ナラシド♪の多方面でのコラボレーション」として、多種多様な業種とコラボレーションすることについて提案があったため、記念事業や担当課で行っている事業において実施できるように、併せて検討していく。

また、担当課にて実施を検討している事業を資料3-2として添付している。

各事業の説明は以上である。

本日の実行委員会では、それぞれの記念事業を70周年記念事業に位置付けることについて、承認をいただきたい。

承認後に時期や内容など、様々な観点から検討を進めるにあたり、予算や実施内容など、現在の記載内容から変更が生じることもあるが、了承いただきたい。

変更等があった場合は、随時、実行委員会にて報告する。

【宮本会長】 予算についての説明をしてほしい。

【事務局】 資料3-1の6ページには前回の60周年時との予算比較を記載している。

現在は詳細な見積もり等は取得出来ていない状況であるが、概算の予算を提示している。

先ほど提案した事業を全て実施した場合の金額は、概算ではある

が、約2,050万円と見込んでおり、60周年時と比べて約475万円増となっているが、物価高など、現在の社会情勢を踏まえると更に増額することが想定される。

【宮本会長】 企画準備委員会からの本提案は、いわゆる実行委員会が直轄で行う事業で、担当課が現在検討している事業が資料3-2の事業ということか。

【事務局】 そのとおりである。

【三代川委員】 この予算案に60周年時の花火大会の金額は含まれているのか。

【事務局】 予算案には「記念事業(他事業への補助金含む)」と記載しているが、この部分に習志野市制施行60周年記念事業実行委員会が市民まつり事務局に対して支払った49万5千円が含まれている。

60周年時は市民まつり事務局が主催者であったため、助成金として支払ったものである。

【三代川委員】 花火大会は商工会議所等が中心となり、協賛金等を集めて実施したということか。

【事務局】 習志野市制施行60周年記念事業実行委員会の直轄事業としては実施していない。

【三代川委員】 私もブルーインパルスはインパクトがあり、いつかどこかで見てみたいと思っていた。

また、今年は開催した花火大会もあるが、1割の自治体は中止となっている。

農業関係でも、肥料がこの1年間で高騰したが、肥料の中には火薬でも使う材料がある。また、その他にも警備に係る人件費など経費が膨れ上がるので、花火大会も実施できれば良いとは思いますが、予算的には大変厳しくなっているのも事実だと思う。

ブルーインパルスの場合、どのような日程で行うのか。

【事務局】 ブルーインパルス自体が私どもも初めての経験のため、事前に確認をしている内容で説明させていただく。

この後、申請手続きを行うが、日程については先方と調整をすることになる。複数の日程を提案した中で、実施が可能であればその日で実施することになると思われる。

実施の可否を含めて正式に日程等が決定するのが令和6年3月頃と伺っている。

また、天気で左右されること以外にも、ブルーインパルスの課題とし

て、実施時間自体は10分前後と短いことがある。

そのため、単独ではなく、他の祭りやイベントと一緒に実施することで、万が一、天候関係でブルーインパルスが実施できなくなった場合でも来場者に満足いただけると思っている。

【 齊 藤 委 員 】 花火大会について、商工会議所は例年、市民まつり実行委員会と柏崎の花火大会へ視察を行っている。

最近では新型コロナの関係で中断をしていたが、この7月末に4年ぶりに視察を行った。

市民まつり実行委員会の関係者と商工会議所の会員で合わせて30名の参加があったが、参加者の皆さんからは、ぜひ習志野市でも花火大会を実施して欲しいという声があったことは事実である。

費用など様々な問題や課題が多いと思うが、このような声は真摯に受けとめていきたいと思う。

【 鈴 木 委 員 】 市民まつりで協賛をいただいている企業団体の方々からも花火大会の質問があった。このような市民の声があるということが事実である。

【 高 橋 委 員 】 私も柏崎の花火大会への視察に行ったが、主催者の課題はあるが、本市で実施できると良いと思った。

【 佐 々 木 副 会 長 】 ブルーインパルスについて、悪天候での中止は仕方がないが、その他に実施できない場合はあるのか。競合している市はあるのか。

【 事 務 局 】 実施するには、自衛隊に対して申請を行う形となる。現段階で、確約は取れていない。こちらが実施希望日を複数提示し、空の交通情報などを勘案して実施について決定いただく。

本市が提出した実施希望日が他のイベントと重複するなど、日程によって出来ない可能性はあるが、申請前の現段階では実施そのものが出れないとは伺っていない。

【 鈴 木 委 員 】 茜浜などの海辺で実施するのか。

【 事 務 局 】 詳細は不明だが、海辺でしか飛行できないとは伺っていない。

【 鈴 木 委 員 】 市民まつりの日に上空を飛行するのも可能なのか。

【 事 務 局 】 確認が必要だが、現在の情報では可能であると思う。

【 宮 本 会 長 】 自衛隊は、1年間に飛行の上限回数は決めているのか。

【 事 務 局 】 現在伺っているのは、空の交通情報がとにかく大切であるとのことで

ある。

希望した日程に空の交通模様が飛行可能な状態であれば、飛行はできると伺っている。

【伊藤委員】 「大スタンプラリー」はチェックポイントに「音楽のまち習志野」らしく、オルゴール版や合唱版といった様々な市歌が流れるなど、二次的な楽しみもあれば良いと思った。

また、ブルーインパルスの実施が叶わなかった場合、夜にドローンの展示飛行を行うのも良いのではないか。

ロボットなど、科学技術を使って親子が家族で楽しめるような事業を実施して欲しいと思う。

【鈴木委員】 ラッピングポストは2基で提案されているが、市内全体に設置してもらえないか。設置された場所と、設置できていない場所で差が出来てしまうと思う。

【宮本会長】 市内にポストはいくつあるのか。

【事務局】 把握できていない。

予算面も一つの要因だが、逆に設置個所が少ないことでそこに行くという楽しみができると考えている。

【高橋委員】 デザインマンホールも1か所の設置なのか。

【事務局】 現在は1か所で検討している。

【宮本会長】 予算について、事務局としては60周年に比べて475万円の増額になっていることについてどのように捉えているのか。

【事務局】 物価高騰のことを踏まえると、10年前と同程度の内容を実施するのであれば、この金額の増加は免れないと考える。

また、会場についても文化ホールの使用ができないため、前回から比較すると増加してしまうのは間違いない。

【蓮委員】 「どこでもピアノ演奏」のピアノはどこから調達するのか。

【事務局】 市にピアノの寄附の申し出があるため、用意できると考えている。

【諏訪委員】 企画準備委員会の委員が様々な観点から検討し、本実行委員会へ提案がなされた内容のため、詳細は微調整が必要かと思うが、提案のあった全ての事業を実行委員会で承認すべきものとする。

ただし、タイムカプセルについては、開封に焦点が絞られているが、

100周年に向かって埋めるということも、検討はあったのか。

【事務局】 提案には新たに埋めるという案もあった。
しかし、選考をしていく中で、タイムカプセルを再度埋めることについては選考されなかった。

【諏訪委員】 100周年に向かって埋めるということも含めて検討をいただきたい。
また、皆様から様々な意見があった花火大会については、実行委員会の直轄事業としては、今回は見送るということである。
しかし、市民まつり実行委員会あるいは商工会議所等と意見交換をする中で、60周年の時に市が補助金を出していることも考慮しながら、ぜひ、本実行委員会とは別の機会できちんと議論をいただきたいと考える。

【宮本会長】 それでは、それぞれの記念事業を70周年記念事業に位置付けることについて、承認としてよろしいか。
また、承認にあたっては、冒頭に事務局から説明のあったとおり、様々な観点から検討を進めるため、承認後に時期・予算・実施内容など、現在の記載内容から変更が生じることについてもあわせてご承認いただきたい。

～一同承認～

事務局は本日の委員からの意見を企画準備委員会及び担当課に対して伝え、各方面にて内容を検討してほしい。

日程第5 報告

事務局より今後の日程について報告があった。

第3回 10月23日(月)午後1時30分～